

新型コロナウイルス感染症に係る農林水産業への影響と対応について

1 農林水産業における影響

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大以降、外食自粛など消費者の活動変化により、和牛、阿波尾鶏、イセエビ、マダイ等の高価格帯の販売は低調であった。
- ・一方、自宅での消費は増加し、家庭向け品目の価格は、堅調に推移している。
- ・主に業務向けの高価格帯品目については、緊急事態宣言解除以降、徐々に回復傾向にあったが、その後の感染の広がりを受け、依然、例年の売り上げ額を下回る状況が続いている。
- ・また、新型コロナウイルスの収束が見通せないことから、秋以降に収穫期を迎える高価格帯品目について、生産者の方々から不安の声が寄せられている。

2 主な支援策の進捗状況

(1) 農林漁業者への緊急支援

①新型コロナウイルス対策農林漁業者総合支援窓口

- ・農業（県農業会議）、水産業（県漁業協同組合連合会）、林業（県森林組合連合会）に設置（6月30日開設）
- ・相談件数337件、専門家派遣件数69件（9月1日現在）

②新型コロナウイルス対策農林漁業者緊急支援事業（9月1日現在）

	緊急融資	給付金
農業	49件（205,960千円）	36件（15,350千円）
林業	6件（83,000千円）	4件（3,800千円）
水産業	48件（216,900千円）	42件（17,680千円）
合計	103件（505,860千円）	82件（36,830千円）

③特に影響を受けた業態への緊急支援

- ・ハウスすだち・ゆず等高収益作物の次期作への取組を支援
- ・和牛肉、阿波尾鶏、ハモ、マダイなどの学校給食への提供
- ・ハモ、アワビの買上げ・再放流により資源回復の取組を支援
- ・林業事業体を実施する森林調査や作業道の維持・補修等を支援
- ・原木や建築資材の運搬・仕分け・保管を支援し、滞留を解消

(2) 新しい生活様式に対応するための「新たな販路開拓」

①生産者のネット販売支援

- ・「阿波ふうどECサイト」の開設
- ・農林漁業者のWEB販売に係るコンテンツの制作支援

②需要喚起及び販売促進

- ・阿波ふうど繁盛店における県産品フェアの開催
- ・シンビジウム、バラなどの花きについて、県内公共施設等におけるイベント開催
- ・阿波尾鶏について、大手食品物流企業などとの連携による商品開発と県内飲食店及び大都市圏におけるキャンペーンを実施
- ・阿波地美栄や県産水産物について、県内飲食店等におけるキャンペーンを実施